

ジブチ月例報告 (2022年12月)

在ジブチ日本国大使館

【内政】

- 12月4日、サイド・ヌー内務大臣出席のもと、国際移住機関（IOM）による国家移民戦略行動計画の運用開始式典が開催。国連常駐調整官、UNICEF、IGAD、UNHCR、赤十字、ドイツ国際協力公社のほか、ジブチ国家警察、沿岸警備隊、国家人権委員会関係者らが参加。人権に基づく移民へのアプローチ推進のため、移民の管理、保護と健康、開発を主軸とする活動が行われる。
- 12月6日、第18回閣僚会議が開催。2023年国家会計予算案など12件の議題を採決。2023年予算は、1,438億ジブチフラン（前年比2.9%増）。

【外政】

- 12月4日、国民宮殿でアデル・ビン・アブドゥラフマン・アラブ連盟議会議長がゲレ大統領のリーダーシップを称え、勲章を授与。
- 12月7日、ジブチ訪問中のハッサン・ソマリア大統領とゲレ大統領が会談し、共通の言語、文化を持つ両国の交流、協力について協議。
- 12月7日、カタール、欧州連合の特命全権大使がゲレ大統領に信任状を奉呈。
- 12月7日、アルジェリアで開催されたアフリカの平和と安全に関する第9回ハイレベル・セミナーにアリ・ハッサン外務・国際協力省次官が参加。紛争管理、武装解除、小型火器管理、アフリカにおける平和と安全に対する脅威、テロなどについて協議。
- 12月9日、中国・アラブサミットに参加中のゲレ大統領が習近平国家主席と会談。
- 12月13～15日、ワシントンで開催された米・アフリカ・リーダーズ・サミットにゲレ大統領を始め、ユスフ外務・国際協力大臣、アフメッド保健大臣、モハメド商業・観光大臣が参加。13日、ゲレ大統領はプリンケン米國務長官とオースティン米国防長官の招待による米国とのパートナーシップ強化について協議するジブチ、ソマリア、ニジェールの三者会談に参加。
- 12月26日、プルカレスキュ駐ジブチ仏大使はラドワン通信大臣を表敬訪問。同表敬において、両者はメディアと通信分野における両国の協力関係のさらなる強化について議論。
- 12月28日～30日、ゲレ大統領はハッサン・ソマリア大統領の招待によりソマリアを公式訪問。首脳会談において、両首脳は新たな二国間戦略的パートナーシップについて協議。

【経済・開発】

- 12月5日、ヨニス・エネルギー大臣がGWP グローバルグループとグリーン水素や数ギガワット規模の太陽光・風力発電所を含む再生可能エネルギー開発プロジェクト実現のため合意文書に署名。
- 12月7日、ジブチ各州、ジブチ市及びフランス開発庁（AFD）の関係者はジブチの地方分権と公共ガバナンスを支援するプロジェクト PROGOUV の運営委員会の初会合を実施。
- 12月14日、イリヤス経済・財政大臣とブバカル世銀常駐代表が国際開発協会（IDA）からジブチへの2,000万米ドルの財政支援契約に署名。同支援はコロナや不安定な地域情勢によるジブチの食料市場への打撃と干ばつによって引き起こされる食料不足リスクを軽減するためのジブチ政府の取組みを支援するためのもの。
- 12月22日、モハメド商業・観光大臣は商取引のデジタル化といった商習慣の急速な変化に対応するために、ジブチの商業及び電子商取引の発展のための国家戦略を検討する会合を開催。

【保健・衛生・社会】

- 12月4～6日、ソマリアのシンクタンク Heritage Institute の第6回年次総会がジブチで開催。ハッサン・ソマリア大統領らを招き、アフリカの角における気候変動、紛争について協議。
- 12月6日、サイード・ジブチ市長がジブチ市内3地区の代表らを集め、Zéro déchet（ゴミゼロ）キャンペーンの作業計画について協議。
- 12月7日、サウジアラビアで開催された第23回アラブ諸国文化担当閣僚会議にヒボ青年・文化大臣が出席。同会議では気候変動に対する予防と意識向上のための政治的戦略における文化の役割の重要性について議論。
- 12月10日、中国・アラブサミットに参加中のゲレ大統領がムハマド・ビン・サルマン・サウジアラビア皇太子と会談。両国は、ジブチ・フリーゾーンにサウジアラビア製品専用のスペースを設け、投資の活性化をはかることに合意。
- 12月14日、タベス駐ジブチ EU 大使はアルタ市を訪問し、EU の財政支援により仏の専門家が実施する地方分権・地域イニシアティブ支援プログラム第二フェーズの枠組みで実施された備品倉庫及び4つのキオスクの完成式に出席。
- 12月24日、サイード・ジブチ市長は Zéro déchet キャンペーンの一環として、ジブチ市内の公道に放置された車両の撤去を開始。

【軍事・治安】

- 12月12～13日、アリ・カヒン国家警察長官がクウェートを訪問し、クウェート警察長官、情報機関長官と会談。人身売買、麻薬、マネーロンダリング、テロ対策での

情報交換、技術協力などについて協議。

【日本関係】

- 12月7日、大塚大使とユスフ外務・国際協力大臣の間で、実施中（令和3年12月に書簡の署名・交換済み）の無償資金協力「海上保安能力向上」について、ロシア・ウクライナ情勢の悪化及び新型コロナウイルスの影響による世界的な経済活動の変調に関連する事情から、贈与限度額を29億4,600万円から34億2,300万円へ変更するための書簡の交換を実施。
- 12月15日、高橋海上保安庁上席派遣協力官、金田 JICA 所長、ワイス・ジブチ沿岸警備隊長官出席のもと、JICA 技術協力プロジェクト「沿岸警備隊能力拡充プロジェクト フェーズ3」の訓練修了式を実施。
- 12月16日、ドラレ多目的港は2,235台の車両を積んだ商船三井 RORO 船 MV アクエリアス ACE を迎入れた。
- 12月17日、大塚大使が草の根・人間の安全保障無償資金協力にて実施中の「アルタ州ヒルバレイ村小学校建設計画」起工式に参加。
- 12月19日、ウクライナ情勢の影響を受けたグローバルな食料安全保障への対応の枠組みにて令和4年度緊急無償資金協力として実施中の WFP 経由のジブチに対する食料支援プレイアップのため、大塚大使がガンジョロゲ WFP 常駐代表とともにオボック市を訪問。
- 12月23日、在ジブチ日本大使館は自衛隊及びフクザワ中学校と協力し、たこ揚げや書道、和太鼓、けん玉折り紙といった日本文化紹介事業を実施。
- 12月25日、在ジブチ日本大使館は派遣海賊対処部隊と協力し、フクザワ中学校の生徒約50名を護衛艦すずつきに招待し、装備品の説明や日本の海賊対処行動に関する説明を実施。
- 12月31日、在ジブチ日本大使館は自衛隊及びカリタス・ジブチと協力し、たこ揚げや書道、和太鼓、折り紙といった日本文化紹介事業を実施。

（了）